

令和2年度事業報告

1 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年度は、年度当初の4月10日に「新型コロナウイルス感染症対策愛知県緊急事態宣言」、同月16日に国の「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出され(5月14日解除)、さらに、令和3年1月14日には2回目の国の緊急事態宣言が発出されました(2月28日解除)。こうした中、社会福祉施設等においては、感染防止対策を行ったうえで、原則として、高齢者等への介護サービスや障害福祉サービスの継続が要請されました。

本法人においても、感染防止対策を徹底し、介護サービス事業や障害福祉サービス事業及び保育事業の継続的な運営に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の発生に備え、拠点単位で「事業継続計画(新型コロナウイルス感染症編)」を策定するとともに、入所施設における感染者発生時のゾーニング計画を作成したほか、2月には感染症対策の専門家を講師として招き、第2とよた苑において実地研修を開催しました。

さらに、アルコール消毒液や個人防護具(サージカルマスク、使い捨て手袋、使い捨てガウン等)の備蓄、食堂テーブルや事務室内の飛沫防止パネル、体温計、次亜塩素酸空間除菌脱臭機等の感染防止対策のための物品を配備しました。

2 中長期計画の推進

(1) 人材の確保

介護分野等における人材確保のため創設された「特定技能制度」を活用し、インドネシアから介護士として4名受入れ、昨年12月にとよた苑及び第2とよた苑に2名ずつ配置しました。

また、遠隔地の高校新卒者の受入れ環境を充実させるため、職員宿舍借上げ制度を新設し、令和3年度の新卒採用では、遠隔地から2名の高卒者を受入れました。

さらに、コロナ禍において、オンライン型の就職活動が主流となる中で、法人のセールスポイント(ICT化の取組みやキャリア制度、給与水準、子育て支援等)を職員がアピールする職員採用動画を作成し、法人HPに新設した採用サイトに掲載しました。

(2) 大規模災害に対する対応

元年度に策定した大規模災害を想定した事業継続計画(BCP)に加え、デイサービス事業に係る「災害時対応マニュアル」を事業所単位で作成しました。

また、ライフラインが停止した場合に備え、順次、非常用自家発電設備及び地下水利用給水設備を整備しておりますが、令和2年度は、第2春緑苑に地下水

利用給水設備を整備しました。

さらに、大規模災害が発生しBCPを発動する場合において、職員及び家族の安否確認や連絡事項を法人全体あるいは事業所単位で配信するための「安否確認メール」システムを導入しました。

(3) 春緑苑短期入所施設の改修工事

築後 23 年が経過し全般的に老朽化が進んだ春緑苑短期入所施設について、居室の完全個室化とともに食堂、浴室、衛生設備などの全面改修を行いました。また、改修に併せて、短期入所施設単独型から特養併設型に変更しました。

(4) 養護老人ホーム若草苑の改築

昭和 55 年に開設された養護老人ホーム若草苑については、令和元年 12 月に豊田市と締結した「豊田市養護老人ホーム若草苑建て替えに関する基本協定書」に基づき、建て替えに係る基本設計及び実施設計を行いました。この改築に伴い、若草苑デイサービスセンターは、令和 2 年度末を以って廃止することとしました。

(5) 第 2 さくら保育園(仮称)の新設

令和 2 年 3 月に春日井市から公募のあった春日井市白山地区に新設する認可保育園の整備運営事業者として、本法人が決定されました。これにより、10 月と 12 月に開催した住民説明会における地域住民の意見や要望を取入れ、基本設計及び実施設計を行いました。

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催

ア 第 233 回理事会(令和 2 年 6 月 12 日開催)

【審議事項】

- ・令和元年度事業報告及び決算について
- ・社会福祉充実計画の事業報告及び変更について
- ・定款変更について
- ・評議員選任・解任委員候補者の選定について
- ・職員宿舍管理規程の制定について
- ・春緑苑併設ショートステイ改修工事について
- ・養護老人ホーム若草苑の改築について
- ・市有地活用認可保育園整備・運営事業者の公募について
- ・定時評議員会の招集について

【報告事項】

- ・評議員の辞任及び新たに就任した評議員について
- ・施設長等の任免について

イ 第 234 回理事会(令和 2 年 12 月 2 日開催)

【審議事項】

- ・監事の辞任に伴う補欠選任について
- ・第 2 とよた苑駐車場の拡張について
- ・評議員会の招集について

ウ 第 235 回理事会(令和 3 年 3 月 8 日開催)

【審議事項】

- ・令和 2 年度補正予算について
- ・令和 3 年度事業計画について
- ・令和 3 年度当初予算について
- ・養護老人ホーム若草苑の改築について
- ・(仮称)第 2 さくら保育園の整備について
- ・諸規程の改正について
- ・令和 3 年度資金運用計画について
- ・施設長等の任免について
- ・役員賠償責任保険の更新について

【報告事項】

- ・令和 3 年 3 月新規学校卒業者の内定状況について

エ 第 236 回理事会(令和 3 年 3 月 19 日※書面決議)

【審議事項】

- ・養護老人ホーム若草苑改築工事に係る入札業者の決定について
- ・養護老人ホーム若草苑改築工事に係る入札要項について
- ・春日苑における非常用自家発電設備の整備について

(2) 評議員会の開催

ア 第 72 回評議員会(令和 2 年 6 月 29 日開催)

【報告事項】

- ・評議員の辞任及び新たに就任した評議員について
- ・令和元年度事業報告及び決算について

【審議事項】

- ・社会福祉充実計画の事業報告及び変更について
- ・定款変更について

イ 第 73 回評議員会(令和 2 年 12 月 8 日※書面決議)

【審議事項】

- ・監事に林昇平氏を選任することについて

4 令和2年度事業運営状況

本法人が運営するサービス事業は、「令和2年度運営施設(事業)一覧」(6頁)のとおり、春日井市、豊田市及び大府市において38事業所(法人本部を除く58サービス事業)の運営を行っております。

介護保険事業のうち特別養護老人ホームについては、全施設の平均稼働率が97.8%とほぼ前年度並みとなりました。収益ベースでは、対前年度比1.8%の増収となりました。

短期入所事業については、平均稼働率が78.6%と対前年度比8.6%の減となり、収益ベースでも18.4%の減収となりました。これは、主に春緑苑短期入所施設の改修に伴い、昨年9月から本年3月末まで事業を一時休止したことによるものです。

デイサービス事業については、一般型の平均稼働率が77.1%とほぼ前年度並みとなりましたが、収益ベースでは2.1%の減収となりました。これは主に若草苑デイサービスセンターの事業廃止に伴い、段階的に他施設への利用者の引き継ぎを行ったことによるものです。認知症対応型では平均稼働率が61.8%と対前年度比2.0%の減、収益ベースでは1.5%の増収となりました。

障がい福祉サービス事業のうち、春日苑及びサンホーム豊田の入所施設の平均稼働率は96.3%とほぼ前年度並みとなりました。収益ベースでは、1.5%の増収となりました。ワーカー鷹来の稼働率は82.9%と対前年度比1.1%の減、収益ベースでも1.1%の減収となりました。障害福祉サービス事業全体では、1.2%の増収となりました。

老人福祉事業については、若草苑の稼働率が対前年度比で0.9%の増、収益ベースでは3.4%の減収となりました。これは、措置費単価の減額によるものです。

保育事業については、さくら保育園の事業収入が対前年度比で0.8%の増収となりました。

支出面では、人件費が全体で対前年度比0.8%の増となりました。これは、主に特定処遇改善手当分の支出が対前年度比で47,024千円の増となったことによるものです。また、人件費率は、69.8%と対前年度比で0.9%の増となりました。

主な支出としては、コロナ感染症の感染リスクに対応する職員への「特別見舞金」の支給が23,915千円、春緑苑短期入所施設改修工事費用として418,000千円、第2春緑苑の地下水利用給水設備の整備費として29,920千円の支出がありました。